

北翔大学大学院 生涯学習学研究科 2019 案内

＜簡易版＞

“高度で専門的な生涯学習振興を目指す”

定員6名/ 標準修業年限 2年（長期履修生は3年または4年）

生涯学習の基盤である教育学、芸術学、心理学といった人間科学的な素養の上に、具体的学習活動に関する理論と実践の関係についての教育研究や、社会教育、学校教育等の教育臨床現場において専門的、指導的立場で対応できる能力を身につけるための教育研究を深めていきます。



教育課程の特徴

「生涯学習学理論領域」と「生涯学習活動論領域」の2つの領域で教育課程を構成しています。

きめ細やかな研究論文指導と教職に関する科目を修めることで、専門性の高い研究者や職業人の育成を図ります。

取得できる資格

[1] 幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭専修免許状

幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状、中学校教諭一種免許状（美術、音楽）、高等学校教諭一種免許状（美術、音楽）、特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）を有している者は、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に規定された科目を修得することにより、それぞれ当該免許状の専修免許状を取得することができます。*

[2] 学校心理士（受験資格、実務経験1年）

本研究科は、（一社）学校心理士認定運営機構が認定する「学校心理士」の受験資格を取得できる大学院です。

学校心理士は、各学校において知的障がいや学習障がい、学業不振や学校不適応、不登校やいじめなど、学校を取り巻く病理現象とその対応の仕方について正しい理解を持ち、専門的知見のある人です。今日、各学校においては、スクールカウンセラーの配置が計画化されており、その業務について対応できる資格です。また、今日の教育現場においては、現職の教職員に必要とされる資格であり、特に北海道においては「学校心理士」の養成が急務とされています。

取得学位

修士（生涯学習学） 修了者に授与

予想される進路

- 幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校教諭
- 児童養護施設職員
- 児童自立支援施設職員
- 家庭裁判所調査官
- スクールカウンセラー（学校心理士受験資格取得）
- 生涯学習関連施設でのインストラクター
- 医療・福祉施設での健康運動指導者
- 公的・民間研究機関の研究者
- 博物館、美術館などの学芸員
- 公民館、図書館等職員・研究機関研究職
- 大学・短期大学又は専修学校の教員、職員
- 大学院博士課程進学、留学

* 文部科学省へ教職課程の再課程認定を申請中です。（ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期が変更となる可能性があります）特別支援学校教諭専修免許状は除きます。

カリキュラム

区分	授業科目	
生涯学習学理論領域	●生涯学習学特論 [2]	○学校心理学特論 [2]
	○生涯学習環境特論 [2]	○臨床心理学特論 [2]
	○生涯発達心理学特論 [2]	○特別支援教育特論 [2]
	●生涯学習行政特論 [2]	○障害者心理学特論 [2]
	○生涯学習計画特論 [2]	○障害者心理学特別演習 [2]
	○生涯学習評価特論 [2]	○生涯学習支援システム論
	○生涯学習メディア特論 [2]	特別演習 [2]
	○教育学特論 [2]	○生涯学習行政論特別演習 [2]
	○教育指導特論 [2]	○心理検査特別演習Ⅰ [1]
	○道德教育研究特論 [2]	○心理検査特別演習Ⅱ [1]
	○教育制度特論 [2]	○学校心理学特別演習 [2]
	○教育心理学特論 [2]	

生涯学習活動論領域	○生涯スポーツ特論 [2]	○生涯学習活動特別演習 [2]
	○生涯学習施設運営特論 [2]	（彫刻） [2]
	○生涯美術特論 [2]	○生涯学習活動特別演習 [2]
	○生涯美術指導特論 [2]	（自然科学） [2]
	○美術鑑賞特論 [2]	○継続学習活動特別演習 [2]
	○高齢者学習特論 [2]	○生涯音楽指導特別演習 [2]
	○生涯音楽指導特論 [2]	（演奏指導） [2]
	○生涯スポーツ特別演習 [2]	
	（運動指導） [2]	
	○生涯学習活動特別演習 [2]	
	（絵画） [2]	

研究指導 教職に関する科目	●生涯学習特別研究Ⅰ [4]	
	●生涯学習特別研究Ⅱ [4]	
	○教育史特論 [2]	○知的障害者指導特論 [2]
	○教育経営特論 [2]	○知的障害者指導特別演習 [2]
	○教育方法特論 [2]	○肢体不自由者指導特論 [2]
	○教職研究特論 [2]	○肢体不自由者指導特別演習 [2]
	○教育課程研究特論 [2]	○病弱教育研究 [2]
	○キャリアガイダンス特論 [2]	○重複障害者指導特論 [2]
	○保育原理特論 [2]	○発達障害者指導特論 [2]
	○特別支援教育	
	コーディネーター特論 [2]	
	○特別支援教育	
	コーディネーター実践論 [2]	

●は必修科目 [] 内は単位数

出願期間 平成31年1月7日（月）～1月22日（火）必着

選抜試験 平成31年2月3日（日）

合格発表 平成31年2月14日（木）

試験科目 英語、専門試験（生涯学習学）、口述試験（学問的意欲や研究計画など）

★入学検定料 本学卒業見込者および本学卒業生は 無料。一般受験生は有料。

★学納金のうち本学卒業見込者および本学卒業生は 入学金（20万円）が免除になります。

生涯学習学研究科の学生募集説明会を開催します。興味のある学生は参加してください。事前申込不要。

2018年12月20日（木）・21日（金）12:30～13:00、1号棟2階120研究室

生涯学習学研究科スタッフ

修士論文の指導を担う教員です。授業科目は以下の教員に加え、複数の学内教員、非常勤教員が担当します。

山谷 敬三郎 Keizaburo Yamaya
学長・教授
PROFILE 北海道立教育研究所研究室長、北海道教育委員会指導主事を経て、平成9年本学短期大学部助教就任。平成12年本学教授、平成16年本学生涯学習システム学部芸術メディア学科長、平成18年生涯学習システム学部長。北海道公立学校スクールカウンセラー。 主な研究テーマ及び概要 担当科目は、「教育学特論」「学校心理学特別演習」等である。テーマは、学校における病理現象の発生メカニズムの解明とその対応について実践的な研究活動を行っている。特に学校不適応問題への対応を学校心理学、カウンセリング心理学、コーチングの視点から考察している。

小室 晴陽 Haruhi Komuro
生涯学習学研究科長・教授
PROFILE 室蘭工業大学大学院建築工学研究科修了、職業能力開発総合大学校応用研究科修了、NTT建築部、北海道職業能力開発大学校教授を経て平成17年度本学教授。博士(工学)、一級建築士、公的委員「江別市雇用創造促進協議会委員」等。 主な研究テーマ及び概要 建築幾何形状モデリング、景観CGシミュレーション。3DCGによる景観アニメーション制作における背景処理簡便化法を提案(映像情報メディア学会)。その他、平成19～21年度文部科学省委託事業「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」の本学事業担当者として、キャリア教育事業を推進しつつ教育研究としても取り組む。

石川 大 Dai Ishikawa
教授
PROFILE 北海道立特殊教育センター研究員・室長、北海道教育委員会小・中特殊教育課主査、北海道立特殊教育センター教育課長、道立特別支援学校(視覚・知的・病弱)の教頭・校長。 主な研究テーマ及び概要 担当科目は、「特別支援教育特論」「肢体不自由者指導特別演習」等である。研究テーマは、インクルーシブ教育システムの構築に向けた学校、教育行政、関係機関等における支援・連携の在り方及び障害のある幼児児童生徒の学習環境における合理的配慮に関する研究に取り組んでいる。

石塚 誠之 Masayuki Ishizuka
講師
PROFILE 筑波大学大学院人間総合科学研究科 博士後期課程単位取得退学。千葉県スクールカウンセラー、日本学術振興会特別研究員P D(北海道教育大学 旭川校)、在中華人民共和国日本国大使館附属北京日本人学校スクールカウンセラー。教育学修士・心身障害学修士。学校心理士・臨床発達心理士・ガイダンスカウンセラー。 主な研究テーマ及び概要 担当科目は「特別支援教育特論」「知的障害者指導特別演習」等である。研究テーマは、障害児心理学、障害児教育。「学習困難児の早期スクリーニング及び早期支援」、「在外教育施設における発達障害児支援体制の確立」、「発達障害幼児の保護者の障害受容」、「発達障害児のための幼保認小の連携」などの研究活動に取り組む。発達障害児者の特徴を臨床を通じて理解し、大きな視野で支援できる人材の育成に努めている。

伊藤 政勝 Masakatsu Ito
教授
PROFILE 北海道立特殊教育センター研究員、北海道教育委員会小・中特殊教育課指導主事、特殊教育指導班主査、北海道立特殊教育センター教育課長、北海道教育委員会小・中特殊教育課主幹、道立特別支援学校(高等養護学校、高等盲学校)校長。 主な研究テーマ及び概要 学校、教育研究機関、教育行政においては、主に視覚障害教育を担当、研究してきた。インクルーシブ教育システムの構築に向けた取組を進める中で、視覚障害のある幼児児童生徒への対応を合理的配慮の視点から、iPadなどの電子機器を視覚補助具として活用する際の有効性などの研究について取り組んでいる。

佐々木 邦子 Kuniko Sasaki
教授
PROFILE 日本労務学会、日本教育社会学会、北海道社会学会等に所属。経営学修士。 主な研究テーマ及び概要 労働と教育の関わりに関心を持っている。研究の対象は成人・女性および若者であり、特に、職業的向上のために自発的に継続学習やリカレント学習に臨む人々について、現状分析により可能性を追求することが研究テーマである。

千里 政文 Masafumi Chisato
教授
PROFILE 福祉環境アドバイザー(北海道)、一級建築士。日本建築学会、日本老年社会学会、地域創成学会、北海道基督教学会に所属。芸術学修士。 主な研究テーマ及び概要 ユニバーサルデザインの視点に立ち、こどもから高齢者、障がい者まで、多くの人が生涯利用できる「すまいづくり」「ものづくり」「まちづくり」について研究を行っている。特に住宅をはじめ、公共施設、こどもや高齢者の居住空間等の設計・アドバイスを通して実地踏査と分析を行っている。

西出 勉 Tutomu Nishide
教授
PROFILE 北海道教育委員会指導主事、北海道立教育研究所研究主幹を経て、平成26年度北翔大学教育文化学部教授。日本教育経営学会、日本生活科・総合的学習教育学会所属。教育学修士。 主な研究テーマ及び概要 研究の対象は公立学校の教員であり、教員研修の内容・方法を中心に、校内研修の活性化に向けた教員の対話を通じた省察の深化について、実践研究を積み重ねてきた。特に他者とのかわかりが教員個々の成長を促すという視点から「行為の中の省察」に着目し、校内研修の在り方について取り組んでいる。また、生活科及び総合的な学習の時間におけるカリキュラム開発など、カリキュラム・マネジメントの在り方について研究している。

林 亨 Toru Hayashi
教授
PROFILE 1984年より新しい傾向を志向した絵画の作品発表を始める。東京、札幌、フランスなどで個展16回開催。その他グループ展など多数参加。美術科教育学会、日本美術教育連合、北海道芸術学会に所属。芸術学修士。 主な研究テーマ及び概要 旧来の絵画らしさを再検討し、他の美術表現との境界線を意識しながら、独自の絵画表現を追求している。また、美術の普及活動を含んだ展覧会企画やNPO活動を通して、いかに美術の受容者の創造性を喚起し、日常への浸透をはかるか、その方法について研究を行っている。

伏見 千悦子 Chieko Fushimi
准教授
PROFILE 全国大学音楽教育学会、日本教育学会、日本保育学会等に所属。芸術学士。リトミック国際サーティファイケイト及びリトミック国際ライセンス取得(ニューオーク・ダルクローズ音楽学校)。北海道サービス管理責任者研修及び相談支援従事者研修修了。 主な研究テーマ及び概要 乳幼児、児童、障がい児・者への音楽教育や音楽療育に関する実践的な研究活動を行っている。幼児教育・保育現場における領域「表現」の指導方法、教材開発のほか、幼保小接続など今日の課題の研究にも取り組んでいる。

松澤 衛 Mamoru Matsuzawa
准教授
PROFILE 1966年 東京生まれ 1989年 北海道東海大学芸術工学部デザイン学科卒業 1996年 北海道東海大学職員退職 1998年 北海道東海大学大学院芸術学研究科修了 学位:芸術学修士 主な研究テーマ及び概要 主に、コンピュータを使用した映像表現についての研究を行っている。また、ネットワークにおけるWebサイトの表現技術の研究や、携帯端末を使ったコミュニケーションツールの研究、コンピュータと各種センサーなどをつなげ、アナログ世界とデジタル世界の融合表現の研究などにも取り組んでいる。

三浦 公裕 Kimihiro Miura
准教授
PROFILE 北海道内及び札幌市内の中学校で教育相談や特別支援教育のコーディネーターを務める。現在北海道学校心理士会の事務局を担当している。日本教育心理学会、日本学校心理学会等に所属。北海道公立学校スクールカウンセラー。学校心理士・上級教育カウンセラー・ガイダンスカウンセラー。教育学修士。 主な研究テーマ及び概要 担当科目は「学校心理学特論」である。相談場面における生徒と教師の人間関係について研究を行っている。また学校現場やスクールカウンセラーの経験を生かし、学校心理学における心理教育的援助サービスに基づいた校内支援体制の構築について考察している。

村松 幹男 Mikio Muramatsu
教授
PROFILE 高校時代より演劇を始め、大学に勤めながら、劇団活動を続ける。平成16年度より本学で演劇を教える。日本演劇学会、日本経営情報学会、日本情報経営学会所属 主な研究テーマ及び概要 研究テーマは、舞台芸術制作の方法論を、地域社会に貢献する人材育成や生涯学習に対してどのように機能させるかである。特に、舞台芸術の人的財産、技術力、舞台製作の方法論等を使って、「コミュニティ形成・創造活動の促進」に活かすことのできる人材育成の理論と実践に関する研究を中心に行っている。